

にほん はじ しんこうぶつ はっぴょう
 日本で初めて新鉱物を発表！

岩佐 巖 いわさ いわお

ねん
 1877年、
 ぶんごいし(フンゴナイト) にほんいし(ジャパナイト)
 「豊後石」「日本石」という
 しんこうぶつ はっぴょう
 新鉱物を発表した。
 こいけんらう
 のちに再検討されて、それぞれ
 さんていせき(サントウゼキ) さい(サイ) さくろし(サクロシ) ほんざい(ほんざい)
 「重晶石」「灰クロム柘榴石」と判明。

いがく こうざんがく みち
 《医学→鉱山学の道へ》
 かぞ さい りゆうがく
 数え18歳で留学。
 いがく まな
 医学を学ぶつもりが
 こうざんがく てんこう
 鉱山学に転向することに。
 こし あらお しゅうぞう
 ドイツ公使青木周蔵のすすめによとも。

にほんじんはつ にゆうがく
 日本人初の入学
 ドイツ、
 こうざんだいがく
 フライベルク鉱山大学の
 にほんじんはつ
 日本人初の
 にゆうがくせい
 入学生。

ねん せうりつ かいもんこう
 1765年創立の名門校！
 こうざんだいがく
 (フライベルク工科大学)

とうきょうだいがく りがくぶ
 東京大学理学部の
 こ やきんがく※
 ドイツ語と冶金学の
 せんせい けんにん
 先生を兼任
 かすく
 数少ない
 にほんじん きょうじゅ
 日本人の教授として
 がくせい おし
 学生に教える。

わだ つよしろう
 和田維四郎は
 じいさうじゆ
 助教授。

※冶金学…鉱石などからの金属抽出や
 合金の製造を研究する学問。



りくし
 略歴
 ふくい う
 福井生まれ (せいねん 1852~1899年)
 ふくいはんい
 福井藩医の子として生まれる。1868年に成
 りつ
 立した医学校(大学東校、東京大学医学部)に
 いがっこう
 入学し、70年にドイツへ留学。帰国後は、東
 にゆうがく ねん
 京大学の教授となり、のちに別子銅山(愛媛
 きょうだいがく きょうじゅ
 県)に勤務する。

い せかい がくしゃ
ふくいに居ながら世界の学者に

市川新松

いちかわ
しんまつ

いし おちゅう
《石に夢中になったきっかけ》

さい
33歳のころ

ひきせんせい
比企先生がつくった

ひょうほんしつ み
標本室を見たこと！

どくがく ひと
独学の人

さいしゅうがくれき しょうがっこう そつ
最終学歴は小学校卒。

ほん よ
本を読んだり、
ひと き
人に聞いたり、
ひとり べんきょう
一人で勉強した。

くわしくは
これき人物シリーズ 10
「市川新松 水晶ものがたり」を
読んでね！

いつも
てもと すいしょう
手元に水晶

おやゆびだい すいしょう
親指大の水晶1つを

げつ
3か月も

かんさつ つつ
観察し続けた！

ざせつ あと
挫折の後の
せいこう
成功

にほん みた
日本で認められなかった
けんきゅう かいがい
研究が海外で
ひょうか
評価された。

いちかわこうぶつけんきゅうしつ
市川鉱物研究室

ねん た
1917年に建てた
けんきゅうしつ けんそん
研究室は現存。

くに どうろくきねんぶつ
国の登録記念物に。

りやく
略歴

ふくい う
福井生まれ (生没年 1868~1941年)

ねん きたしんじょうむら えちせんし
1894年、北新庄村(越前市)に養子に行く。県
がい しはんがっこう きょういん つと ようし い けん
外で師範学校の教員を勤めたが、1907年に
たいしよく もと けんきゅう ぼつとう
退職してふくいに戻り、研究に没頭。
ねん かいがい がっかい すいしょう けんきゅう みた
1913年、海外の学会で水晶の研究が認めら
れる。



いし ひょうほんばこ たよう
ふくいの石を標本箱に多用！

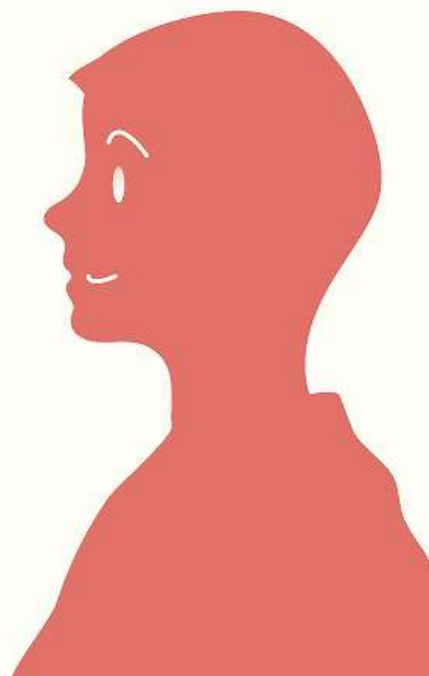
いざき いちざえもん
井崎市左衛門

(生没年：1892～?年)

いざき いちざえもん おにゆうぐん おにゆうむら おぼまし う ひょうほんしょう
◆ 井崎市左衛門は、遠敷郡遠敷村(小浜市)に生まれ、標本商
いざききかいひょうほんてん いとな じんぶつ
「井崎器械標本店」を営んだ人物です。

いざき こんちゅう だいす
◆ 井崎は、こどものころから昆虫が大好きで、
ふくいけんこんちゅうし あらわ
のちに『福井県昆虫誌』を著します。「井
いざききかいひょうほんてん こんちゅう ひょう
崎器械標本店」は、おもに昆虫の標本や
ほん さいしゅうようぐ はんばい こうぶつ
採集用具を販売しましたが、鉱物の標本
ひょうほん と あつか
も取り扱いました。

いわもと おな わかさ ざいく たずさ
▶ 岩本さんと同じで「若狭めのう細工」に携わったことがあるよ！



とうきょう ねん つづ しにせ こうぶつてん そうぎようしゃ
東京で100年続いた、老舗鉱物店の創業者

いわもと しょうたろう
岩本庄太郎

(生没年：1879～1957年)

◆ いわもと しょうたろう とうきょう ねん つづ ひょうほんしょう いわもとこうさんぶつ
岩本庄太郎は、東京で100年続いた標本商「岩本鉱産物
しょうかい ねんへいぎよう そうぎようしゃ
商会」(2017年閉業)の創業者です。

◆ いわもと おにゅうぐん おにゅうむら おばまし しゅっしん
岩本は、遠敷郡遠敷村(小浜市)の出身で、
とうしよ わかさ ざいく しょくにん
当初は若狭めのう細工の職人をしていま
した。のちに東京に出て1915年(大正4)
しょう こうぶつ あつか みせ かま おお けんきゆう
に鉱物を扱う店を構え、多くの研究者や
しゃ まじ ひろ たくないがい
コレクターと交わり、広く国内外に石を
いし はんばい
販売しました。

いざき おな むら しゅっしん
▶ 井崎さんと同じ村の出身だよ！

